

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	関東森林管理局 日光森林管理署	連絡先	0288-22-1069
所管する業務の概要	国有林野の管理経営、治山事業の実施等		

1. 基本的な心構え・行動			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
(1) 親切、丁寧な対応及び挨拶の励行。 ・ 接遇研修を実施し、全員が親切、丁寧な対応に努めること、特に第一印象に留意することを確認。 ・ 担当者が不在の場合、要件の担当者への伝達及び相手方への回答を迅速かつ確実に実施。 ・ 入札方法の変更等、制度の見直しの際には、相手方に留意点を周知するなど、分かり易く誤解を生まないように対応。		・ 親切、丁寧な対応については、継続的な改善が重要であることから、引き続き検証を行いながら実行する。 ・ 問い合わせの回答にあたっては、複数の担当係にまたがる事案もあることから、関係者の連携を密に図り対応する。	
(2) 地域からの要望への対応 ・ 林道の崩落箇所への復旧工事に当たり、利用者の利便性に留意するため、地元と、工事期間、工事中の通行確保について調整して工事を実施。			
(3) 国民への情報提供 ・ 森林環境教育等へのニーズに応えるため、学校を対象にした森林教室、一般の方を対象にした体験林業等を自治体等の協力も得ながら実施。		・ 理解が深まるように、できるだけ現地での体験を主体とし、更に写真やイラストで補足する構成とする。	

2. 業務の企画立案・推進

・現在行っている取組や工夫

(1) 政策のニーズ等の把握

① 国有林野所在市町村長有志協議会、県、関係機関との連絡協議会等の場を利用して地元自治体等のニーズを把握。

② 市町村、県、林業事業体、関係職員による、災害に強い搬出路整備についての現地検討会を開催し、林業関係者間における技術知見の共有化を図る。

また、森林施業の指標林の内容が一般の方を含め広く理解されるように、趣旨や配置を記載した看板を設置。

③ 地元自治体・地域の自然保護団体などと共催で森林に親しむ体験事業を実施することで、一般の方の森林・生息する野鳥についての理解を深めていただくと共に、ニーズを把握する。

また、実施内容について、署のホームページや広報紙等を活用して幅広く情報発信することで、幅広い参加を促す。

更に、森林の快適な利用を促進するため、森に親しむフィールドである、レクリエーションの森を自治体と連携して整備する。

④ 地元で深刻な問題となっている獣害対策について、地元自治体・学識経験者、林業関係者等との検討会に着手し、被害状況の把握、防除対策の実施及び検証等を行うことで、被害防除に向けた意識の共有化を図る。

・点検によって得られた課題とその改善策

- ・ 意見交換を効率的に行えるように、各市町村における具体的な取り組み内容など地域にあった情報を写真等を利用してわかりやすく提示するように工夫する。

- ・ 昨年度実施した間伐の低コスト化検討会の検討結果と合わせて周知することで、間伐推進にあたっての意識の共有化を図る。

- ・ 森林施業の経過を継続的に観察することで、実施後の経過説明ができるようにしておく。

- ・ 参加者が固定化する傾向にあることから、幅広い参加が得られるように、地元のサークル団体、学校、イベント参加者など呼びかけ対象を広げる。

- ・ 内容紹介には、写真等を用いわかりやすいように工夫する。

- ・ 整備に当たっては、安全面に十分留意して実施する。

- ・ 5年間継続実施する間、地域との情報交換に努めることで、地域で連携した取り組みにつなげる。

3. リスク管理に関する取組		
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策	
(1) リスク管理のルール ① 署内に設置している「業務点検委員会」を活用して、保安林・自然公園等法令手続きにもれがないかチェックする。 ② 重要な緊急情報については、迅速に局に情報連絡する。 (2) 過去の教訓の活用 ・ 安全対策に災害事例を活用。	・ 引き続き、手続きもれのないようにチェック機能の充実を図る。 ・ 上局への情報連絡とあわせ、職員間の情報の共有化にも努める。 ・ 今後も災害事例を活用した安全対策を進め、類似災害の防止について安全点検等を実施しながら、安全指導に努める。	

4. 食の安全に関する取組		
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策	
・ ビデオ、アンケートを活用して、食の安全についての基礎知識を習得。 ・ 森林整備・治山事業の実施を通じた水源かん養、土砂流出の防備機能の発揮が、食の安全を含めた安全・安心の確保に寄与している。		

5. 円滑な業務運営の実現に関する取り組み			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
・ 出署日等の機会を活用して意見・情報交換を実施。		・ 今後も、様々な機会を活用して、職員の意見・情報交換を実施する。	